

三 終戦に至るまでの間における独立混成第六十四旅団の概況

上州のふるな経過をもつて、独立混成第六十四旅団は奄美群島に

配置され、旅団長は徳之島（天城村大和城山）に位置して、その隷指揮下部隊

總計約七六〇〇の将兵をもつて、奄美群島の防衛に当ることとなる。

旅団長が決定した配備の概要は、次のとおりである。

徳之島

独立混成第二十一聯隊主力 （徳之島北半部）

独立混成第二十二聯隊主力 （徳之島南半部）

奄美大島 （重砲兵第六聯隊野砲中隊主力）

重砲兵第六聯隊主力 （大島水道の扼止）

独立混成第三十二聯隊の一中隊

特設警備中隊三 （笠利、名瀬、古仁屋）

沖永良部島および興論島

独立混成第二十一聯隊の一大隊

喜界島

独立混成第三十二聯隊の一大隊

（重砲兵第六聯隊の野砲）

（即配属）

当時における敵情利新は、敵が奄美群島攻撃を遂行する場合、その
戦艦目標は、徳之島（喜界島）飛行場の確保にあり、併せて大

0051
0052

旅団は、新配備につくと共に、鎮守府その他戦備の強化
訓練は、特に敵の上陸拠点未だに東部の反撃を重視して実施し、

昭和十九年十月十日、徳之島の飛行場は、沖縄本島に對する空襲を

同時に、始り、本格的な空襲を受けました。

旅団は、飛行場修復のためには民間の手を借りるが望みである。

昭和十九年十一月以降、現地召集により各隊定員の充足を

飛行場に於ける空襲の頻りに、十一月二十二日には、徳之島東側にあり、旅団隊属の機帆船和泊丸が

昭和二十年に入り、戦局は一段と緊迫の度を加え、
敵艦載機による暴走を、司令部高級部員、総務部長が負傷、
沖永良部守備隊は

「當時における敵情利新^{の骨子}は、敵が夜美群島の放棄せざる場合、その戦艦目標は徳之島(喜界島)飛行場の確保にあり、併せて大島水道の領有を企図するであろうという点にある。」

0051
0052

昭和十九年十月十日、徳之島飛行場は、沖縄本島に對して空襲を

同時に、始り本格的な空襲を受けた。

旅団は、

昭和十九年十月十日以降、現地召集により各隊定員の充足を

飛行場に対する空襲の頻りに

昭和二十年に入り、戦局は一段と緊迫の度を加え、敵艦載機による襲撃や、司令部高級部員、經理部長が負傷、沖永良部特務隊長

図り、海軍の機隊(沈没と駆逐艦の人員、兵器をもつ編成)と指揮下に、徳之島飛行場の防空を強化し、さらに

神給の困難化、北都徳之島にあり、群島の確保、現地自衛の促進を企図して

が戦死し、さらに
二月十八日には、機論島、沖永良部島間を航行中の機論中の機論

機帆

船前丸が米軍B24機の攻撃を受け沈没し、所

(徳之島飛行場志急補修要員)

属の軍属二三名の戦死、すう等の損害を生じた。

沖繩本島に対する米軍の攻撃は、昭和二十三年三月二十三日に始

大規模の空襲、これに続く二十五日の慶良間諸島への上陸に

始され、三月二十六日天号作戦の発動が令せられた。これによつて、

は、三月二十八日

第六航空軍(時あたかも徳之島にその一部と推進中であつた。)

機動飛行場

徳之島と中継基地として、特攻による攻撃を開始し、

第六飛行団長今津正克大佐も一隊、徳之島に上陸した。

徳之島飛行場

に対する敵の空襲はさらに頻繁となり、四月三日には

0053

損害を受け、翌四月四日、喜界島飛行場

たつて、第六航空軍は

と利用する改竄を實施したが、四月五日には、喜界島飛行場

(このように、徳之島飛行場は幾度の敵機により破壊されたが、独立混成第六十四旅団

もまた空襲を受け、

飛行場の整備、修復、集積、防衛等、極力

は、破壊される程度、これを修復し、特攻機の着発に支障をのうしめることに勉められた。

四月五日に至り、第六航空軍は、徳之島飛行場と特攻の中継基地とするこ

とを断念し、徳之島に派遣された戦士の指導に当たっていた第六航空軍

参謀井戸田大佐も召喚されて福岡に帰還することになった。

その後におり、沖繩に向う特攻機は臨時徳之島飛行場に着発し、

独立混成第六十四旅団は、第六航空軍の作戦を援助した。

飛行場の整備、修復、集積、防衛等、極力

沖繩本島における地上作戦は、六月二十二日概ね終了することになった。

ミミにおいて、第十方面軍と第二總軍との作戦地境と六月二十五日以
降鹿児島、沖縄^境早とす^改ることに^改められ、独立混成第六十四旅

団は~~...~~第十方面軍の戦斗序列

に編入(配当兵団文字符^を「~~...~~」から「~~...~~」に変更^{されたので}旅団は、奄美群島に滞留し、いん全部隊を、その指揮下に入れ、同方面軍の命令に従って引き続き奄美群島の防衛に當りつつ、終戦に至つたのである。

独立混成第六十四旅団の行動概況および終戦時における独立

混成第六十四旅団長指揮下部隊の一覽は、附表第一および

第二のとおりである。

0055